全日本民医連 2024.1.30 ナース★アクション議員要請&省庁交渉&院内集会の概要報告

日　時：2024年１月30日（火）　14時～議員要請、15時～省庁交渉、院内集会～16時半
於　：参議院議員会館　講堂
参加者：看護職員220人、保育士10人
賛同国会議員：40人［2024年２月５日現在］　【立憲民主党（14名）】野間健（衆）、吉田統彦（衆）、小川淳也（衆）、桜井周（衆）、井坂信彦（衆）、阿部知子（衆）、渡辺創（衆）、早稲田ゆき（衆）、白石洋一（衆）、牧義夫（衆）、馬淵澄夫（衆）、小熊慎司（衆）、神谷裕（衆）、杉尾秀哉（参）、【国民民主党（３名）】芳賀道也（参）、田中健（衆）、長友慎治（衆）、【日本共産党（21名）】高橋千鶴子（衆）、宮本徹（衆）、穀田恵二（衆）、赤嶺政賢（衆）、笠井亮（衆）、志位和夫（衆）、塩川鉄也（衆）、田村貴昭（衆）、宮本岳志（衆）、本村伸子（衆）、紙智子（参）、伊藤岳（参）、小池晃（参）、岩渕友（参）、吉良よし子（参）、田村智子（参）、山下芳生（参）、山添拓（参）、倉林明子（参）、井上哲士（参）、仁比聡平（参）、【れいわ新選組（１名）】船後靖彦（参）、【社会民主党（１名）】大椿ゆうこ（参）
➡院内集会に駆けつけていただいた議員［野間健、吉田統彦、桜井周、井坂信彦、阿部知子、早稲田ゆき、宮本徹、宮本岳志、本村伸子、小池晃、倉林明子］

進行／河本真理理事（福岡医療団看護部長）

〈開会挨拶〉川上和美副会長（熊本／社会医療法人芳和会看護・介護部長）

能登半島地震において被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。そして、災害対応に御尽力いただいています皆様に敬意を表します。また、本日はご多忙のなか各省庁からお越しいただき感謝を申し上げます。今なお終息していない長期に渡るコロナ禍で最も困難な課題は看護体制の脆弱性であり、コロナ禍を経て、より一層看護職員等の確保は困難を増しています。看護職員をはじめ医療従事者の処遇と人員増が可能な診療報酬の改善が求められます。私たちはケア労働の価値を高め、看護職員等が働き続けられる環境や人の役に立ちたいと夢と希望を持つ学生達が経済的な理由で諦めることなく、看護の未来へとつなげていくために署名等に取り組んできました。多くの共感と賛同をいただき、短期間にもかかわらず、ここにありますように合わせて30万筆以上の署名が集まりました。本日はその署名とともに寄せられた声を直接届けに参りましたので、ぜひ真摯に受けとめていただきますようよろしくお願いいたします。

〈行政からの回答〉
●処遇改善に関して、厚生省保健局医療課から●

昨年の10月、中医協でこの評価料がどれだけ看護職員さんの給与、またその他の職員さんの給与に反映できたかという検証の議論を行っており、中医協の委員からも今後賃上げに取り組むに当たっては、看護職員の処遇改善評価料の制度設計のみでは対応しきれないという御意見をいただきました。それを踏まえて、今になってからという話ですけれども、今般の改定におきましては0.61％分の対応として、看護職員さんも含め、看護補助者、病院薬剤師などなどですね。医療関係従事者に幅広く賃上げに使っていただけるような改定の内容を盛り込んだところです。個別の内容につきましては、中医協で議論をしているところで、例年でいうと２月中旬に答申が行われますけれども、そこで決められた内容につきまして、御確認いただきながら、また今後、賃上げがしっかりと実施されるような形で、厚労省としても取り組んでまいりたいというふうに考えております。

●看護学生が経済的不安なく学べる環境整備に関して、文科省高等教育局学生支援課から●

文部科学省では高等教育の無償化といたしまして、低所得世帯の学生等を対象に授業料減免と給付型奨学金をセットで支援する高等教育の就学支援新制度というものを02年度からスタートしております。本制度は、住民税非課税世帯に対しては高等教育を無償とする水準で支援を行っており、それに準ずる世帯についてもその満額支援の３分の２ないしは３分の１を支援するという仕組みで支援を行っているところでございます。給付型奨学金制度については06年度つまり次の４月から拡充することとしておりまして、対象年収の所得制限の引き上げ、中間層の学生、そのうち扶養する子供が３人以上等の学生等を対象に支援を拡充することと

しております。また、加えまして、昨年12月に閣議決定いたしました子ども未来戦略において、07年度から同じく子供３人以上を要する学生等を対象に授業料を無償化するということが盛り込まれております。

●看護職養成校への国の補助金を充実させる点について、文科省高等教育局医学教育課から●

要請書にもございますとおり、コロナ禍を経て看護職者の離職率が増加していることは非常に残念に思っております。看護師養成教育において、臨地実習を含む質の高い看護教育が行われることが新卒看護師の離職防止につながると考えております。文科省においては、平成29年度に看護学教育モデルカリキュラムを策定しておりますけれども、現状の課題を踏まえまして、今年度よりこちらのカリキュラムの改定を行っているところでございます。令和６年度中には完成の予定でございます。また、令和３年度の補正予算では、WITH コロナ時代の新たな医療に対応できる医療人の医療人材養成事業において、138の看護系大学でシミュレーター等の整備を行い、従来の実習では獲得できなかった能力を習得できる教育プランを構築していただいております。即戦力となり得る実践的な知識を身につけた人材養成が行われており、今後選定された大学における成果を発信してまいりたいと思います。

●院内保育所の充実について、厚労省医政局看護科から●

保育所の運営整備につきましては、看護職員をはじめとする医療従事者の離職防止及び再就業を促進するため、都道府県に設置された地域医療介護総合確保基金における医療従事者の確保に関する事業の中で財政支援を行っており、今年度予算において医療分1,029億円を確保しています。各都道府県において地域の実情に応じて補助金補助基準等を定めに交付することから、加算の新設や増額等については、まずは都道府県の方とよく御相談いただきたいという考えでございます。

●院内保育所の充実について、こども家庭庁から●

保育の受け皿につきましては、職員や設備等、さまざまな基準を満たすことにより、一定の質を確保することが重要でございます。そのため、運営費のことにつきましては、認可保育所を対象としているところでございます。こどもを安心して育てることができる体制の整備に向けまして、認可保育所等への移行を希望する認可外保育施設につきましては、移行を推進してまいりたいとこちらも考えておりまして、そのために必要な支援を行うことが重要であると考えております。移行支援につきましては、改修費の支援ですとか、移転費用あとは運営費の補助などを行っております。こちらにつきましては、全国会議の場などにおいてもその活用について周知させていただいているところでございますので、各保育施設の所在する市区町村に御相談いただきますと幸いでございます。

〈現場からの訴え〉

①宮崎医療生活協同組合看護介護統括部長　小牟田佐知子さん

特に第８波では、宮崎県は感染数が全国１位で、高齢者施設のクラスターが過去最高となり、亡くなった方の34％が施設入所者という、深刻な状況の中で勤務してきました。当院は､100床規模の小さな病院ですが､コロナ難民を出さないように発熱外来をはじめ、感染者を受けるための病棟再編をし、搬送困難事例が増える中、断らずに、年間2,000台以上の救急車を受け入れてきました。救急隊からも生協病院があって本当に良かったと感謝されています。搬送患者の特徴としては、高齢者の救急が殆どで、入院患者も介護度が高く、病棟看護師の負担がかなり増大しています。コロナ禍で看護師が疲弊し、転職も含め看護現場を離れるという事態が起きています。そして、今や看護師が不足して、病床閉鎖せざるを得ない事態になっています。この状況は、当院だけでなく、近隣の急性期病院にも同じ状況がみられています。是非、国の責任で国民のいのちを守り、地域医療を守るために、全ての看護職員の処遇改善を求めます。そもそも診療報酬は、安全・安心の医療提供体制を確保する基盤となるべきものです。すべての医療従事者の処遇改善のため、診療報酬の大幅な引き上げを求めます。

②東京勤医会東葛看護専門学校副学校長　山田かおるさん

物価高騰の中で働いても働いても、子どもたちの学費を準備するのは容易ではありません。親から、「奨学金を借りて自分の力で学業を成り立たせてほしい」と話されていたある学生は、しかし、なかなかそれを学校に相談することができませんでした。ようやく奨学金申請が受理されて、久しぶりにこの学生の笑顔を見ました。他にも授業料が支払えない申し訳なさで、登校出来なくなってしまった学生もいました。その学生を支えたのは、一緒に学ぶ仲間たちでした。そして、仲間と一緒に看護師になりたいと話してくれました。経済的困窮は、学ぶ機会を奪うだけでなく、それを発する言葉が奪われ、将来への希望が奪われ、そして自己を肯定することさえも奪います。18歳人口が減少す

る中で、看護の道を選んでくれた学生たちが、経済的理由で夢を諦める社会にはしたくないです。希望をもって学んで欲しいのです。諸外国のように高等教育無償化を、多子家庭のみではなく保障してください。憲法で保障された学習権という視点で、若者の夢を応援して下さい。養成する看護専門学校は、学生の学納金と補助金しか収入はありません。学生の経済状況からすると、簡単に授業料を上げることは出来ません。どうか看護学校の補助金を充実させて下さい。

③全日本民医連保育世話人会代表　長谷川清美さん（広島中央保健生協　保育士）

院内保育所は24時間絶え間なく稼動し続ける医療現場で働く職員のため、主に公的な保育園では補えない産休明け保育をはじめ夜間保育や休日保育を行ってきました。近年の医療現場でのパンデミック状況下においても、保育園や小学校の閉鎖によって受け止め先を失ったこどもたちの保育を担って医療現場とともに奮闘し続けました。厚労省は折にふれ医療体制推進維持のため院内保育所を運営することを推奨されてきましたが、運営の支援は基金から保育士を雇用する経費の一部を補助してもらうのみとなっています。しかも１年を通して看護師のこどもが毎日保育されていることが条件なので、夜間や休日、学童などの保育を単独で行っても何の支援はありません。認可保育園のこどもたちは、国から一人ひとりに対する運営費が保障されていますが、認可基準を満たしていると認められ証明書を発行されていても、各自治体の状況や、さまざまな理由によって認可外とされている院内保育所において保育されている子どもに対しては何の対策もないのが現状で、すべて各病院の体力に任されている状態です。こども家庭庁も発足し、こどものための様々な支援が進んでいっているなかで、全くと言っても過言ではないくらい何の対策もとられていないと思われる院内保育所の園児と保育者たちがいることにぜひ着目して頂きたいと思います。

④京都民医連中央病院　看護部長　坂田薫さん

コロナ禍で看護師の退職がかなり伸びて、流動性が非常に高くなっています。やはりコロナで疲れた心を抱えながら、急性期で働く辛さがそのまま表れていると言えるのではないでしょうか。そして子育て環境の改善によって、一人当たりの育児休職の期間が長くなっていて、病院を管理する立場としては夜勤を担える人手の不足を感じます。しかも休職で欠員が出たところを業者に頼って職員を採用せざるを得ないのが実際で、業者に対して一人当たり100万を超えるお金が必要になってくる、年間10人雇えば1,000万円もの本当は要らないお金が出ていくという事になるのです。当院では2022年度までは中途採用を業者に頼るということはありませんでしたから、たいへんな変化です。厚労省は評価料を診療報酬に載せた際に「看護師の給与は他産業と比較して決して低くない」と言いましたが、この評価は違うと思うし、診療報酬はそもそも現物支給であり、診療やその質に対する評価であるべきで、やはり手当として処遇改善という名目の中で診療報酬に充てられることには非常に違和感があるし、これがますます拡大していくと病院の裁量権ということをどう考えたらいいのだろうか思います。もう１点、今改定で重症度、医療看護必要度の評価からＢ項目が外されると聞いています。これはもはや看護の必要量を測定するものではなく、７：１の病床の適正化のために使われるということだと思います。看護にとって重要なデータを本格的に手放してしまったと私は思っています。看護の必要量の測定は必要ないのでしょうか。最後ですが、軍事費よりケアが最優先される社会の実現のため、看護師の養成と看護師の労働環境改善、適切な看護配置を心から求めたいと思います。

＜閉会挨拶＞須田倫子看護委員長（北海道勤医協統括看護部長）

この間、私たちが訴えてきた看護職員を初め、全ての医療従事者の処遇改善を求める要請書、それから高等教育無償化とお金の不安なく看護職を目指せる環境整備を求める要請書、院内保育所の充実に向けた要請書。この３つの要請内容は24時間継続して働いている、命を守る看護師が未来に渡って本当に働き続けられる環境を整備する為の現場の切実な声だと思います。国にはしっかり責任を持って受け止めて、具体的な改善策に取り組んでいただきたいと切に思います。この間、これらの要望について全国各地で看護協会や自治体との懇談も進みました。公的医療機関など民医連以外からも多くの署名と賛同の声も寄せられています。また本会議の忙しい中でも国会議員の皆さんがこの院内集会にも駆けつけてくださり、メッセージをいただいた

り、エールも送ってくれたことで、これからも継続した運動の大きな力になると思います。わたしたちは政治の大本を変えることが、どんなに大切か痛感しました。私たち看護師はつらいことを沈黙しないで、このような社会に訴えていくことの大切さを学んでいます。このナースアクションの取り組みは声を上げ、たたかって社会は動くしいうことを体現でき、多くの看護師の確信につながっていると思います。戦争よりいのちと、しっかり声を上げて協同の輪を広げ、これからもみんなでたたかって勝ち取っていきたいと思います。本日は本当にお疲れさまでした。

YouTubeにてhttps://youtu.be/C0udSM1VL60　配信用動画3分50秒